

Bastos! バストス!

by Peer Sylvester

3-4 人用、9 歳以上向け

ゲームの目的

このゲームではカード 1 枚ごとの価値が変動します。加えて、各プレイヤーにはアキレスの踵に相当する「バストス！」なフルーツというのが 1 つずつ設定されます。ちなみに「バストス！」というのは、ものごとが計画通りに行かなかった時にフィリピンの人が叫ぶ言葉です。

使用するもの

- 5 色のフルーツカード各 1~9。各色「10」は使わないので、箱にしまったままにします。
- 価格表 1 枚。
- 屋台 5 枚。
- 店員マーカー 5 個。残りの店員マーカーは使わないので、箱にしまったままにします。色はどれでも構いませんが、カードの色と合わせて 5 色 1 個ずつとすると良いでしょう。
- 切札マーカー 1 個。

加えて、得点の記録のために筆記用具が必要です。

ゲームの準備

3 人ゲームではフルーツカードは 4 色ぶんしか使わないので、1 色選び、1~9 全てのカードを箱にしまします。また、店員マーカーも 4 個しか使いません。

価格表をテーブル中央に置き、店員マーカーを、各色のフルーツが描かれた場所に置きます。この場所は「価格 0」を意味しています。

屋台 5 枚 (3 人ゲームなら 4 枚) は価格表の脇に並べておきます。切札マーカーは屋台の脇に置きます。

じゃんけんなど適当な方法で、最初のゲームにおけるカードの配り役を 1 人決めます。



ゲームの構成

「バストス！」は、3 人で遊ぶなら 6 ゲーム、4 人で遊ぶなら 8 ゲーム、くり返し遊びます。毎ゲームで獲得した点数を足しあわせていき、この決められた回数のゲームを終えた時、合計点が最も高い人の勝ちとなります。配り役はゲームごとに左隣のプレイヤーに交代していきます。従って、決められた回数のゲームが終わるまでに、どのプレイヤーも配り役を 2 回ずつ担当することになります。

ゲームの開始

配り役がカードを全て伏せ、よく切ってから、4 人ゲームなら 11 枚ずつ、3 人ゲームなら 12 枚ずつ、それぞれのプレイヤーに配ります。配られたカードは他のプレイヤーに中身を覗かれないよう、手札として持ちます。4 人ゲームではカードが 1 枚余りますので、これはめくって公開し、テーブル脇にどけておきます。このカードは今回のゲームでは使いません。

ここで全員、配られた手札のうち 1 枚だけ秘密裏に選び、一斉に公開します。この公開したカードは、今回のゲームが終わるまで、手元に公開したまま置いておきます。この公開したカードのフルーツが、各自の「バストス！」なフルーツとなります。当然、複数のプレイヤーが同じ種類のフルーツを「バストス！」なフルーツとして選ぶこともままあります。

各フルーツについて、そのフルーツを「バストス！」なフルーツとして選んだ人数 1 につき 1 段階、そのフルーツの価格を上げてください。

例: 2 人がバナナを選び、残りの 2 人がドリアンを選んだとしましょう。この場合、バナナとドリアンは価格「2」、残りの 3 種類のフルーツはそれぞれ「0」でゲーム開始となります。

ただし、ゲーム中にせよゲーム開始時にせよ、フルーツの価格は +3 よりも高くなることはありません。また、-2 より低くなることもありません。

配り役の左隣のプレイヤーが、今回のゲームにおける最初のラウンドの「リーダー」になります。

ゲームの流れ

リーダーが手札からカードを 1 枚公開します。以降は時計回りに、各プレイヤーが手札から 1 枚ずつ公開していきます。なお、リーダー以外のプレイヤーは、リーダーが出した種類のフルーツカードを手札に持っているならば、必ずその種類のフルーツカードを出さなければいけません。持っていないなら、どの種類のフルーツカードを出しても構いません。

全員が 1 枚ずつ出したらラウンド終了となります。

切札の決定

ゲームは切札が決まっていない状態で始まります。切札が決まっていない状態において、プレイヤーがカードを出す際、リーダーの出した種類のフルーツを持っておらず別のフルーツを出すのであれば、このカードを出す時に「このフルーツを今回のゲームの切札とする」と宣言することができます(しなくても構いません)。宣言を行うと、そのフルーツが今回のゲームの切札となります。ただし、そのフルーツが誰かにとっての「バストス！」なフルーツである場合は、これを切札とすることを宣言してはいけません。

切札の宣言が行われたら、切札マーカーを取って、切札に決まったフルーツの屋台の上に置きます。

切札が決まったら、今回のゲームが終わるまでずっと、そのフルーツが切札となります。リーダーの出した種類のフルーツを持っておらず別のフルーツを出す際、切札のフルーツカードを出しても構いませんし、そうでないカードを出しても構いません。

カードの獲得

全員が 1 枚ずつ出したらラウンド終了となります。誰かが切札のフルーツを出している場合は、切札のフルーツの中で一番大きい数字のカードを出したプレイヤーがラウンドの勝者となります。誰も切札のフルーツを出していない(または切札が決まっていない)場合は、リーダーの出したのと同じ種類のフルーツの中で、最も大きい数字のカードを出したプレイヤーがラウンドの勝者となります。ただし、自分にとっての「バストス！」なフルーツを出したプレイヤーは、ラウンドの勝者にはなりません。カードの比較は「バストス！」ではないフルーツを出したプレイヤーの間でのみ行います。

ラウンドの勝者は、このラウンドに出てきた全てのカードを集め、全て伏せて手元に置きます。伏せたカードはもう今回のゲーム終了まで中身を確認できません。そして、このラウンドの勝者が、次のラウンドのリーダーになります。

「バストス！」なフルーツ

自分にとっての「バストス！」なフルーツを出したプレイヤーは、ラウンドの勝者にはなりません。

リーダーが「バストス！」なフルーツを出した場合、このリーダーは直ちに、任意のフルーツを 1 種類選び、そのフルーツの価格を 1 段階上げるか下げるかしなければいけません。

なお、リーダーが自分にとっての「バストス！」なフルーツを出した場合、他のプレイヤーはこれと同じ種類のフルーツを(持っているなら)出さなければならない点が変わりありませんし、ラウンドの勝者の決定方法も変わりません。誰一人としてリーダーが出したのと同じ種類のフルーツも切札も出せなかった場合、自分にとっての「バストス！」でないフルーツを出しているプレイヤーのうち、リーダーから時計回りに数えて最も近い位置にいるプレイヤーが、カードの数字の大小に関係なく、ラウンドの勝者となります。

全員が自分にとっての「バストス！」なフルーツを出している場合、このラウンドは勝者なしとなり、このラウンドで出されたカードは全てテーブルの脇にどけます。この場合、今回のラウンドのリーダーが、次のラウンドも引き続きリーダーとなります。

ゲームの終わり

全員がカードを使い切ったら、今回のゲームは終了です。各自、獲得して手元に置いておいたカードを全てめくって公開します。獲得したカードは、1 枚につき、価格表に示されただけの点数になります。全て足しあわせ、今回のゲームで獲得した点数として記録します。

次のゲームを始めるにあたり、切札マーカーを屋台からどかし、価格表上のマーカーは全て 0 に戻します。配り役は左隣のプレイヤーに交代となります。45 枚 (3 人ゲームなら 36 枚) のカードを集めて切り直します。そして次のゲームを始めます。

8 回戦 (3 人なら 6 回戦) まで終了したら、各回のゲームで獲得した点数を各自足しあわせます。合計点の最も大きいプレイヤーが全体の勝者となります。